



【繊維別の取り扱い方】

綿素材

比較的アルカリに強く、水分を含んでも繊維の強度は低下しません。アルカリ性の合成洗剤や漂白剤が使用できます。

品物により色の濃いモノは、染料がにじみ出る可能性があります。必ず、同系色のモノと洗ってください。

また、色の濃いモノは、紫外線などにより退色することがあります。退色とは別に、洗濯をくり返すことにより繊維が毛羽立って白っぽくなる場合があります。

アイロン掛けは、直接霧吹きで湿らせてから少し体重をかけて伸ばしてください。

ウール素材

1日着用した後は、上から下へ毛並みを整えブラッシングしてください。また、1日着たら1日休ませてあげてください。

水で洗うと、縮みや型くずれの原因になります。基本的にはドライクリーニングに出しましょう。

手洗いの表示があるモノは、中性洗剤で洗いましょう。
[洗濯ジャーナルvol.6 上手な手洗い]を参考にしてください。

毛玉が出来たら、ハサミで切り取りましょう。むしり取ると正常な繊維まで取ってしまいます。

フリース素材

フリースは静電気が発生しやすいためにホコリを吸い寄せやすく毛玉の原因ともなります。綿素材のインナーは避けましょう。

毛玉をつくらぬためには、洗濯の際ネットに入れて中性洗剤で洗い、柔軟仕上げ剤を使って下さい。着用時に帯電防止スプレーを使うのも良いでしょう。そして、乾燥機は避けてください。

毛玉になったら、ハサミで切り取ってください。引っ張っても張力が強いので、なかなか取れません。

シルク素材

大変デリケートな繊維です。汗や紫外線を嫌いますので、着用後は、出来るだけ洗うようにしましょう。手入れが悪いと襟や脇が黄変してカビ・虫食いの原因となります。

保管する場合は、ブラッシングせずに柔らかい布を使って織り目に沿ってホコリを払い、型くずれをしないようにハンガーで吊して陰干ししましょう。

基本的にはドライクリーニングです。しかし、特殊加工されているモノで手洗いが出来るモノもあります。購入時に品質表示を確認しましょう。

レーヨン素材

レーヨンは特に水に弱く、無理をすると引き裂きするコトがあります。

また、フィラメントと呼ばれるレーヨンは、シルクと同じくらいデリケートな繊維です。

お洗濯は絵表示をよく確認し従ってください。レーヨンは糸の太さや素材により、大きく特徴が異なります。それによって洗い方も様々で、洗濯機で洗えるモノから、ドライクリーニングでしか洗えないモノまであります。

ダウン（羽毛綿）製品

着用後は、襟・袖口など汚れやすい部分を、固く絞ったタオルで拭き取り、風通しのよいところで出来るだけ圧迫されないように保管しましょう。

家庭で洗う場合は、中性洗剤で洗ってください。但し、羽毛が水分を含むと可成り重くなります。

大型の洗濯機かドラム式の洗濯機が必要です。さらに問題は乾燥なのですが、自然乾燥だと羽毛が元通りに膨らまなかったり、かび臭くなったりします。ダウン製品が入る乾燥機か、コインランドリーなどを利用しましょう。